

かつたっ子

15の春プロジェクト

平成30年3月7日 発行

勝田中学校区保幼小中連携
つなぐ推進委員会だより
発行責任者 No. 10
勝田中学校長 西村 睦美

中学校“学びの時間”で頑張りました



勝田小学校と勝田東小学校5、6年生が、毎週火曜日の午後、勝田中学校小学生ルーム（1階、2階）で学びました。教科担任制の授業の経験を積みながら、小学校と中学校をスムーズにつなぐ取組にチャレンジしてきました。中学校“学びの時間”は、この一年間で22回実施しました。小学校の教科としての英語、算数の苦手問題克服の時間、ラジオ体操の学習、陸上交流会、中学校全校集会への参加（全校合唱・英語劇の鑑賞、中学校生徒会による「ストップ！スマホ」の学習）など、中学校でさまざまな経験を重ねました。

来年度も、火曜日の中学校“学びの時間”26回を予定しています。小学校英語の授業を中心に、多様な学習を工夫しながら、“学び”を深めます。そして、小学校も中学校もお互いに行き来することで、かつたっ子の確かなつながりを育てていきたいと思っています。保護者の皆様方も、ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、本年度は漢字検定と英語検定にチャレンジしました。去年は、中学校で開催した年2回の漢字検定を多くの小学生が参加し、日頃の漢字学習の成果を試しました。本年度は、それに加えて年2回の英語検定を勝田中学校で実施しました。小学生の合格もあり、小学校英語の授業に弾みがつきました。自分たちの学習の積み重ねが〇級という形でわかりやすくつかめることも、子どもたちの学習意欲につながっています。これらの検定は、学校だけでなく、社会生活でも通用する検定です。今後も、かつたっ子全員で、積極的にチャレンジしましょう。



小学校と中学校、家庭学習もつながぎます

本年度も、あとわずかです。春休みには、小学校・中学校ともに宿題に取り組み、それぞれの学年で学んだ内容を復習します。小学校6年生は、卒業前に出された宿題を中学校に提出します。ここでも、小学校と中学校がつながっています。また、小学校5、6年生と中学生はパソコンやスマホを使った学習アプリも試すことができます。

家庭学習の時間が少ないこと、学習内容が定着していないこと（授業で学んだときは理解していても、時間がたつと忘れて身についていないこと）が勝田中学校区の課題です。家庭学習の習慣をつける取組や、宿題を家でしてくる習慣をつけることも、小学校と中学校で粘り強く取り組んでいきます。ご家庭でも『学びと育ちの連携表』を参考に、小学校1年生の時から取り組んで下さい。

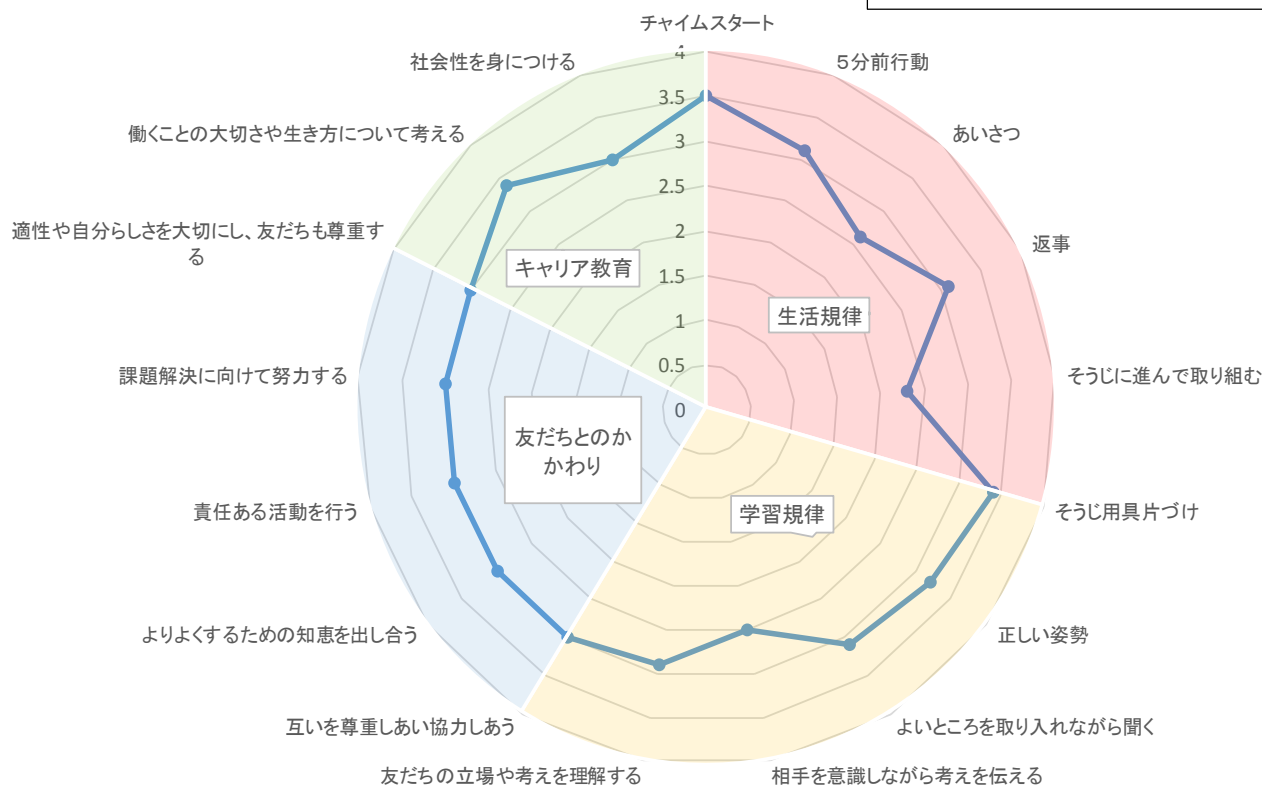
かつたっ子 15 の春プロジェクト合同研修会



2月28日（水）に勝田中学校・勝田小学校・勝田東小学校職員の合同研修会を開催しました。まず、一年間の反省を兼ねて『かつたっ子 15 の春プロジェクト 学びと育ちの連携表』の学校や園で取り組むことがどれくらいできたかを話し合いました。

たとえば、勝田中学校の先生たちが4段階で評価した結果をグラフにしたものが下図です。4はパーフェクトにできている状態です。これからの取組が大切です。

- 4→よくできている（10割達成）
- 3→まあできている（7割～10割未満）
- 2→あまりできていない（4割～7割未満）
- 1→できていない（4割未満）



次に、勝田中学校区の課題（①子どもたちの「読み取る力」を伸ばす②家庭学習の習慣形成）について、来年度はどんなことを『15の春』で協力して取り組むかを話し合いました。また、勝田ひまわり園・小学校・中学校でかつたっ子の15年間をつなぐ取組にどんなものが考えられるか、グループでアイデアを出し合いました。

来年度も、基本的な生活習慣や規範意識、家庭学習の習慣をつけて子どもたちのいろいろな力を伸ばす取組に園と小学校・中学校で協力していきます。学級懇談会や参観日などで、園や学校と家庭を結んで、子どもたちの成長を支えたいと思います。来年度も『かつたっ子 15 の春プロジェクト』の取組にご協力下さいますよう、よろしくお願いいたします。